



株式会社パソナグループ 株主通信

2010年6月1日～2010年11月30日



社会・経済の変化の影響を大きく受ける雇用

ICT(情報通信技術)とグローバル化の進展により、日本の社会・経済を取り巻く環境は大きく変わりました。たとえば、2010年3月期の上場企業420社の連結営業利益は7兆3,400億円。2000年3月期とほぼ同水準にとどまります。ところが利益が生み出された地域を見ると、大きな変化が起きています。2000年には利益の74%が日本国内で生み出されていたものが、2010年には52%になり、新興国の割合が9%から36%を占めるまでに伸張しています。2009年だけで96万人の雇用が海外に流出し、国内生産額に換算すると35兆円が消えたといわれています。

労働市場を見ると、有効求人倍率の改善が続くなど明るい兆しもあるものの、2001年に初めて5%の大台に乗せた完全失業率は、5%台のまま高止まり、失業期間が1年以上の長期失業者が失業者全体の4割に迫っています。仕事につけない理由をみると、「希望する種類・内容の仕事がない」という人が最も多い。また、2010年春に就職できなかった大学生の数は、就職留年を含めると11万人に上り、2011年春はさらに厳しい状況が続くと見られています。一方、医療や介護、育児といった、少子高齢化が進む日本社会を支える業種や日本産業の土台を支える中堅・中小企業では、恒常的な人材不足に悩んでいる。求職者と求人が結びつかない「雇用のミスマッチ」が生じているのです。

雇用のミスマッチを解消する

たとえば大学生の就職難の場合、解決すべき「3つのミスマッチ」があると私は考えています。1つ目が「情報のミスマッチ」です。日本の中小企業は、世界的に競争力の高い優れた技術を持っているにも関わらず、情報発信力に乏しく、自社の良さを学生に伝えることができていない会社が多い。そのため、限られた大企業の採用枠に大勢の学生が殺到することになってしまいます。

2つ目が「教育のミスマッチ」です。事業環境が変わり、企業の求めるスキルや人材像も以前とは変わっているのに、多くの大学では、授業の中身もやり方も以前とあまり変わっていない。社会に出て活躍できる人材を育成するために、大学の教育内容も見直しが必要な時期になっています。

そして3つ目が「意識のミスマッチ」です。モノづくり産業からサービス産業へと、経済のソフト化が進んでいます。しかしそういう産業構造の変化を、大学も学生も親も、十分には認識できていない。そのため、せっかく将来有望な中堅・ベンチャー企業から内定をもらっても、親の反対で辞退してしまうといったケースが後を絶たないのです。

パナソニックの取り組み

そこでパナソニックでは昨年4月、これら3つのミスマッチを解消するための試みとして、就職できなかった新卒大学生を一定期間パナソニックの契約社員として採用し、パソコンや英語、ビジネスマナー、



コミュニケーション力などを徹底して教育・研修したうえで、実際に企業で就業を体験してもらう「フレックスキャリア社員制度」をスタートしました。2010年12月までに約1,400名の若者がこの制度を利用し、その半数が正社員として採用されています。またこの試みが評価され、中小企業庁の「新卒者就職応援プロジェクト」や地方自治体の「緊急雇用対策」など、様々な受託事業を通じた若年層の就職支援事業にも全国各地で取り組み、合わせて約4,000名の若者の就労を支援しています。

また去年は、パナソニックが中国での就労を希望する日本人を対象にした就職セミナー「JOB博」を東京、中国の上海・広州で開催。また、パナソニックが「IT/BPOセンター」を中国の大連とベトナムに開設したほか、チーム・パナソニック・インドがインドのニューデリーに加え、今年ムンバイ、チェンナイ、バンガロールの3都市で営業拠点を開設するなど、海外進出を加速する日本企業の後方支援にも注力しています。

世界経済の流れが変わり、産業構造が変わり、市場環境が変われば、求められる人材、組織のあり方も変わってきています。パナソニックグループでは2015年までに、「MESIA+G」、すなわち、M=Medical/医療、E=Environment/環境、S=Sightseeing/観光、I=Information Communication Technology/情報通信技術、A=Agriculture/農業、G=Global/グローバルの6つの重点分野で、社会の変化に対応できる新たなソリューションを創造し、これからの社会に求められる人材の育成に力を注ぎ、雇用のミスマッチを解消することで、新たな雇用の創出に貢献してまいりたい所存です。

皆さまの日頃のご厚情に心から感謝を申し上げますとともに、変わらぬご支援をお願い申し上げます。

2011年2月

代表取締役 グループ代表

南部靖之

2010年

パナ

8月

大学就職課向けキャリアコーチの養成プログラムを開始

www.pasona.co.jp

学生の就職活動の長期化により、大学では学生に就職指導できる人員が不足しています。そこでパナは、企業人事経験者などを「キャリアコーチ」として養成するプログラムを開始し、全国の大学の就職課等で学生へのキャリアアドバイスを実施しています。



養成講座のほか、大学のキャリアセンター職員を受け入れ、カウンセリング手法などを学ぶ研修も実施しています

パナ

9月

「経営力活性化パートナーズ」中小企業の海外事業支援を強化

www.pasona.co.jp/biz-partners/

パナは中堅・中小企業の経営支援を行う「経営力活性化パートナーズ」に、海外事業を支援する「グローバル人事相談室」を設置し、グローバル人事戦略のコンサルティングや外国籍人材の採用、人材育成、制度構築などのサービスを開始しました。



中小企業の「経営」「販路拡大」「助成金相談」「適格退職年金移行」など計9種類の相談窓口を設置しています

パナテック

9月

松山市で「ひとり親家庭等の在宅就業支援」を開始

www.pasonatech.co.jp

パナテックは通勤が困難な「ひとり親」を「在宅ワーク」の仕組みを活用して支援する「松山市ひとり親家庭等の在宅就業支援事業」を受託し、運営を開始しました。その取り組みが評価され、(社)日本テレワーク協会の奨励賞を受賞しました。



コール業務やデータ入力業務など在宅での就業を支援するほか、ビジネスマナーやITスキルの研修も実施しています

パナグローバル

9-10月

「JOB博」開催 グローバル人材の就業支援を拡大

www.pasona-global.com

昨今、日本では海外進出が活発化し、現地社員の拡充や国内での外国人比率を高める企業が増加しています。

こうした中で、パナは国籍に関わらずグローバルに活躍する人材の就業支援事業を拡大しました。

9月に開催した「JOB博CHINA」では、東京と上海、広州の3会場で、中国で働きたい日本人を対象に、現地に進出する日系企業の採用動向を伝えるセミナーを開催し、延べ300名を超える日本人が参加しました。

10月には、国内の外国籍留学生や既卒者を対象にした「JOB博」を開催。日本をはじめ海外での就労に関心のある約600名が参加

し、グローバル人材を積極的に採用している日本企業15社が企業説明会ブースを出展しました。また、パナグループのコンサルタントによるキャリアカウンセリングでは、日本語のほか英語、中国語で対応し、各国の最新の就労状況を伝えるとともに、就職支援サービスを提供しました。



「JOB博」には中国や台湾のほか、ベトナムやインドなど幅広い国籍の留学生が参加し、企業説明会ブースには長蛇の列ができました

ベネフィット・ワン

11月

共同購入型クーポン販売サイト「ベネ!PON」サービス開始

www.benefit-one.co.jp

ベネフィット・ワンは福利厚生会員向けに共同購入型クーポン販売サイトを開設しました。サイトでは、飲食店やエステなどの料金が50~90%割引で提示されており、購入者が一定時間以内に規定数に達すると商品が購入できるお得なサービスです。



ベネ!PON
<https://bp.benefit-one.co.jp/>
常時5~10種類のクーポンを販売しており、携帯電話からも購入できます

障害者のさらなる雇用促進を目指して

パソナグループでは、就労意欲がありながら就職が困難な障害者の雇用分野の拡大を目指して、障害を持つ人々の能力、個性を引き出し、社会的自立を応援するため、様々な形で障害者の雇用促進に取り組んでいます。

パソナ・シャドーキャビネットが「障害者雇用促進セミナー」を開催

2010年7月に障害者雇用促進法が改正され、障害者雇用への関心は高まっているものの、知的障害者の就労率は向上していないのが現状です。そこで、パソナグループの社内組織「パソナ・シャドーキャビネット※」は、パソナハートフル、東京都特別支援学校就業促進研究協議会と協力して「障害者雇用促進セミナー」を開催し、「インターンシップ」を紹介するとともに、パソナグループ本部の見学会、懇親会を実施して障害者雇用に関する理解促進を図りました。

知的障害者雇用に関する疑問や悩みについて真剣に議論

懇親会では、約40社の人事担当者と特別支援学校の約20名の先生方が、企業側の疑問や悩みについて議論しました。知的障害者の受け入れが難しい主な理由として下記の3点があがりましたが、議論の結果、受け入れ側の人事や現場の担当者が、事前研修などによって知的障害者に関する予備知識を身につけ、指示の出し方を工夫したりすることにより、トラブルを未然に防ぎ、様々な仕事を任せられるという結論になりました。

Q 知的障害者に任せられる仕事はあまりないのでは？

A パソコンを使用するデータ入力、ファイリングなどの事務職や、サービス系の業務も可能です。集中力が高いので健常者より適している業務もあり、任せられる仕事は決して少なくありません。



アート村工房やメール室、営業部など、障害者が働いている様子を1時間近くかけて見学しました。「任せられる仕事の幅は意外と広い」「一度回り始めたらスムーズに進みそう」など前向きな感想をいただきました。

Q 指示がうまく伝わらないのでは？

A 「3時まで」「これが全部終わるまで」など具体的な指示と、見本や簡単なマニュアルが有効です。受け入れ側が少し工夫するだけで大きな成果が期待できますし、むしろ仕事の効率は、健常者より高いかもしれません。



懇親会では、人事担当者から「今まで理解不足だった」という声も聞かれ、特別支援学校の先生からは、受け入れ企業の事例や知的障害者の特性をふまえた助言をいただくなど、活発な情報交換が行われました。

Q 人事部が雇用したくても、受け入れる現場の抵抗にあいます

A まずは数日～数週間のインターンシップを実施して、現場のスタッフと一緒に徐々に知的障害者雇用に関する理解を深め、仕事の切り出し方や、わからないことがある時の対応などを検討してはいかがでしょうか。



インターンシップは特別支援学校の先生が付き添い、報酬も不要なので、受け入れ経験のない企業も活用しやすい制度です。来場企業の約半数が「インターンシップ導入を検討したい」と回答しました。

※パソナ・シャドーキャビネット

企業の立場から社会の問題点の解決策を議論し、社会に提案する組織として発足。雇用を切り口に女性・若年層・シニア・障害者・グローバル人材の就労、農業、起業、地域活性化、社会保障や規制緩和などについて専門家とともに研究、議論しています。



シャドーキャビネットの活動を報告しています
www.pasonagroup.co.jp/shadowcabinet

パナグループ本部 ～パナファミリー・タウン～

働きたいと願うすべての人々がそれぞれのライフスタイルに合わせた働き方ができるように、グループのサービスインフラをワンストップで提供する「パナファミリー・タウン」を2010年3月に開設しました。パナの仕事は「人を活かす」こと。自然との共生をテーマに、働く人々をサポートする様々な仕組みを整え、社員とその家族、派遣スタッフなど、パナファミリーの絆を育てています。

パナファミリーの絆を育む様々な活動を実施

▶ 家族でワークライフ・バランス Pasona Family Day

パナグループは東京都の「東京しごとの日」事業において、家族による職場訪問などを実施する指定企業に認定されました。「Pasona Family Day」を設けてパナグループ本部にグループ社員の家族を招き、職場見学や親子で楽しむイベントを開催しました。



「父親の育児参加推進講座」、アート村工房での「エコうちわ手作り体験」や南都代表との懇親会も実施

▶ 子供との絆を育む パナファミリー保育園

仕事と子育ての両立を支援するため事業所内保育所を2010年7月に開設しました。

実績豊富なパナフォスターが自信をもって提案する保育カリキュラムを用意しています。一時保育も実施しており、社員だけでなく派遣スタッフの方にも利用いただいています。



ハロウィンなど季節ごとのイベントでは親子で社内を巡り、子供との絆を深めています

▶ スタッフの健康管理をサポート ピンクリボンキャンペーン

派遣スタッフの方に健康でイキイキと活躍していただくために、乳がんの早期発見・早期治療の大切さを伝える「ピンクリボンキャンペーン」を実施。イベントやセミナーによる啓蒙活動を全国で展開し、健康に対する意識向上を促しました。



東京・大手町、丸の内街頭で、働く女性にピンク色のバラ1,000本を配布

“働く”を応援する環境を整備

▶ アーバンファームで就農支援

三期作が可能な水田をはじめ、季節の花々や野菜の畑、植物工場などを一般公開して農業の魅力を発信しているほか、農業ビジネスの起業や新規就農をサポートするため、農業経営を学ぶ講座・研修を開催しています。



国内はもちろん世界各国からも多数の見学者が訪問。田植え、稲刈りなどのイベントも開催

▶ 企業・人材のグローバル化を支援

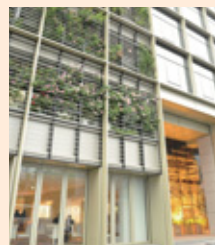
企業に海外の雇用情勢や人材採用、リスクマネジメント等の最新情報を提供したり、グローバル人材の紹介や、グローバル人事に関するコンサルティングなどを行っています。また、留学生や海外での就労を希望する方々に、現地の仕事情報やキャリアアドバイスを提供しています。



外国人留学生のための合同企業説明会を開催するなど、グローバル人材と企業が交流する場も提供

「第23回日経ニューオフィス推進賞」受賞

ビル全体をアーバンファームとして緑に囲まれた環境を構築し、都会でできる農業の可能性を広く社会に提案しているパナグループ本部は、企業理念を具現化する先進的なオフィスとして「日経ニューオフィス推進賞」を受賞しました。自然と共生し、働く人が才能を100%発揮できるように様々な工夫がなされています。



「フレッシュキャリア社員制度」

パソナは2010年4月、厳しい就職環境の中、諦めずに就職活動を続けている新卒者を支援するために「フレッシュキャリア社員制度」を開始しました。この国の未来を創る若者の社会への第一歩をサポートするため、全国の企業に協力をお願いしながら、新たな雇用の仕組みを提案しています。

「フレッシュキャリア社員制度」とは

夢と目標を持った意欲ある若者に向けた就職支援プログラムで、大学・大学院・短大を卒業した未就労者を最長2年間パソナの契約社員として受け入れます。パートナー企業で就業しながら、「人材創造大学校*」でビジネスマナーなどの基礎研修、高度専門職研修を無料で受講できます。これまで約800社のパートナー企業から2,000件以上の求人が寄せられました。現在1,400名以上がプログラムを通じて様々な企業に就職しています。

自分の進めべき道を見つけるための様々なサポート

フレッシュキャリア社員は基礎研修後、就業しながら高度専門職研修を任意で受け、キャリアアップを目指します。

- ① **就業前の基礎研修** ビジネスマナーやコミュニケーション能力など、社会人に求められる人間力を磨く
- ② **働きながら学ぶ**
 - 当社またはパートナー企業で就業し、実務経験を積む
 - 並行して、「人材創造大学校」でビジネススキルや専門知識を身につける
 - キャリアカウンセリング、応募書類の書き方、面接対策など就職活動の指導・相談等の実施
- ③ **キャリアアップ
～巣立ち** 身につけた経験、自信、スキルを活かし、パソナグループの全面的なサポートのもと、新たなステージに挑戦していきます。
(就業先例) メーカー、金融、IT関連企業など

※人材創造大学校

フレッシュキャリア社員は、社会人として必要なビジネスマナーやコミュニケーション能力などを基礎から鍛え、働く意味を考え人間力を養います。財務・秘書・語学・PCスキルなど各分野の専門職研修までしっかりとカリキュラムが組まれています。各界で活躍する方々の特別講座も開催されており、活発な質疑応答が交わられています。



「常に見られている意識を持って」と厳しい声飛び研修



名刺交換などTPOに応じたビジネスマナーを指導

参加者の「メンター」

K.T.さん



2010年4月 フレッシュキャリア社員としてパソナ入社
5月 配属先パートナー企業で就業開始
6月 配属先パートナー企業に入社が決定し、パソナ退社

フレッシュキャリア社員制度の体験によって自分が変わりました。マナーや人とのかわりの大切さ、自分がこの会社で何ができるか、何をしたいかを考えるようになり、積極性と自信を持って活動することができました。パソナのメンターが親身になって適切なアドバイスをしてくださったので不安がなくなり、色々な研修を受けることで自分に自信ができました。

お問い合わせ先

パソナ「新卒キャリア支援プロジェクト」
Tel. 03-6734-1152

全国で説明会・選考会を開催しています。詳しくは
www.pasona.co.jp/shinsotsushien/f-career/
をご覧ください

2011年5月期第2四半期 決算ハイライト

売上高

890億円

営業利益

5億円

経常利益

6億円

四半期純利益

△5億円

サマリー

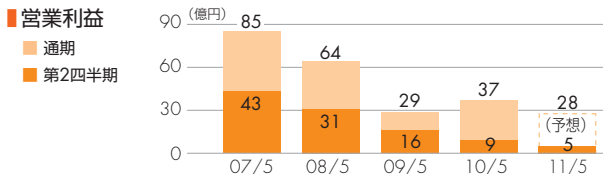
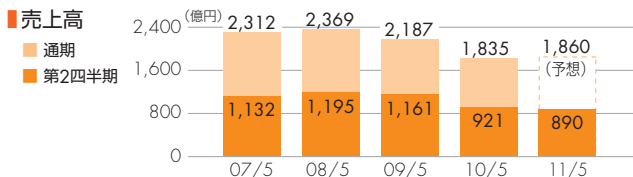
- 売上高は88,994百万円（前年同期比△3.3%）と前年同期比マイナス幅は縮小。営業利益は533百万円、経常利益は580百万円と減益。第1四半期に計上した資産除去債務の影響もあり、四半期純損失は549百万円となったものの大幅に改善
- エキスパートサービス(人材派遣)は新規受注が増加し長期稼働者数も底打ち、インソーシング(委託・請負)もパブリックセクターからの受注が増加して堅調に推移
- ブレース&サーチ(人材紹介)は企業の採用意欲が回復し、即戦力を中心に求人増加。グローバルソーシング(海外人材サービス)は計画を上回って推移

- アウトプレースメント(再就職支援)は、企業の雇用調整が一巡して受注減少
- 上期はアウトプレースメントで早期再就職決定を最優先したため原価が膨らみ、粗利率が低下。販管費は業務効率化とコスト削減により引き続き抑制

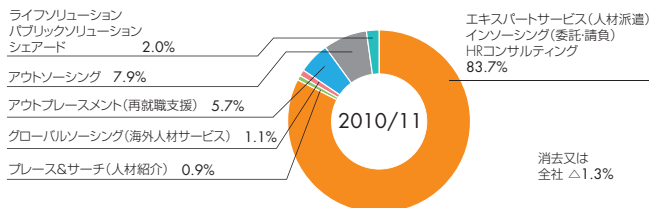
業績概況

2011年5月期第2四半期は、企業収益の改善が見られたものの、先行きの不透明感が広がりました。雇用情勢においては、業種によって採用意欲の回復が見られたものの、完全失業率は高止まりしており、さらには新卒の就職内定率が過去最低を記録するなど、雇用回復の遅れが若年層の就業にも大きな影響を及ぼしています。

このような環境のなか、アウトプレースメント(再就職支援)で企業の雇用調整が一巡し、受注が減少しましたが、ブレース&サーチ(人材紹介)では企業の採用意欲が回復しており、即戦力となる人材を中心に求人増加の動きが見られました。また、日本企業の海外シフトの加速が海外でのグローバル人材の需要増につながり、グローバルソーシング(海外人材サービス)は計画を上回って推移しました。エキスパートサービス(人材派遣)は新規受注が増加し、長期稼働者数も底打ちが見られました。また、官公庁や地方自治体等のパブリックセクターからの受注が増加したインソーシング(委託・請負)は堅調に推移しました。これらの結果、連結売上高は88,994百万円(前年同期比△3.3%)となり、前年同期と比べマイナス幅は縮小しました。



■セグメント別売上高構成比



利益面では、アウトプレースメントにおいて早期再就職決定を最優先したことにより原価が膨らみ、粗利率が低下しました。グローバルソーシングで一部吸収したものの、売上総利益は16,174百万円(前年同期比△8.6%)となりました。販管費は、グループ総合拠点にオフィスを統合して業務効率化とコスト削減を進めたことにより前年同期比1,144百万円減の15,640百万円(前年同期比△6.8%)となりましたが、連結営業利益は533百万円(前年同期比△41.0%)、連結経常利益は580百万円(前年同期比△37.7%)と減益となりました。

また会計基準の変更に伴い、第1四半期に資産除去債務影響額480百万円を特別損失に計上したため、連結四半期純損失は549百万円(前年同期は1,696百万円の四半期純損失)となりましたが、税効果会計の影響が少なかったため、前期と比較し四半期純損失は大幅に改善しました。

セグメント別業績

2011年5月期から、会計基準の変更に伴いセグメントを変更したため、2010年5月期のセグメント別数値とは継続性がないことから、前年同期比は記載しておりません。

▶ HRソリューション

売上高 **88,428**百万円、営業利益 **1,871**百万円

エキスパートサービス(人材派遣)、 インソーシング(委託・請負)他

売上高 **76,260**百万円
営業利益 **653**百万円

エキスパートサービス(人材派遣)、 インソーシング(委託・請負)、HRコンサルティング

売上高 **74,470**百万円

オフィスワーク中心のエキスパートサービス(人材派遣)では、メーカーやITをはじめ多くの業界で新規受注が増加し、長期稼働者数も底打ちが見られました。職種別では、医療分野の育成型派遣の推進やM&Aによる専門職種強化も奏功し、テクニカル分野が堅調に推移したほか、営業・販売職においても回復の兆しが

見られました。結果、売上高は66,583百万円となりました。

重点注力分野であるインソーシング(委託・請負)は、企業の業務効率化の流れを受け、受付、事務センターやコールセンターなどの受託が増加したほか、パブリック案件も順調に推移し、売上高は6,827百万円と堅調に伸長しました。

ブレース&サーチ(人材紹介)

売上高 **788**百万円

国内では、営業職や技術職の即戦力を中心に求人意欲回復の動きが見られて受注が増加し、売上高は回復基調となりました。

※海外の人材紹介は「グローバルソーシング(海外人材サービス)」に含んでおります。

グローバルソーシング(海外人材サービス)

売上高 **1,000**百万円

日本企業の海外シフトが活発化する中、現地社員の拡充に加えて、国内においてもグローバル人材の採用意欲が高まり、特に中国などアジアを中心に新規需要が増加しました。また、人材派遣、給与計算等の業務や海外人事における周辺分野のアウトソーシング受託も拡大しました。

上記セグメントの利益については、エキスパートサービスにおいて派遣スタッフの社会保険料率の上昇や、派遣単価のスプレッド低下等の影響を受けました。インソーシングとグローバルソーシングの拡大、ブレース&サーチの回復に加え、販管費の抑制等によって収益は改善基調にあり、営業利益は653百万円となりました。

アウトプレースメント(再就職支援)

売上高 **5,103**百万円
営業利益 **586**百万円

企業の雇用調整が一巡し、受注は高水準だった前期に比べて減少しました。前期に受け入れたサービス利用者の早期再就職決定を最優先し、カウンセリングや求人開拓に重点を置いた結果、原価が膨らみ、好調だった前期と比べて売上総利益が大幅に減少しました。

アウトソーシング

売上高 **7,064** 百万円
営業利益 **632** 百万円

ベネフィット・ワンでは、大企業・官公庁等の法人会員に対して提案営業を推進し、ワークライフ・バランスを実現する福利厚生サービスの拡販に注力した結果、福利厚生のアウトソーシングサービスは堅調に推移しました。

▶ ライフソリューション、パブリックソリューション、シェアード

売上高 **1,774** 百万円、営業利益 **73** 百万円

ライフソリューションの保育関連事業では、保育士の派遣や学童保育事業の受託が増加し、堅調に推移しました。

■ セグメント別業績 (セグメント間取引消去前)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益
HRソリューション	88,428	1,871
エキスパートサービス(人材派遣)、 インソーシング(委託・請負)他	76,260	653
エキスパートサービス(人材派遣) インソーシング(委託・請負)	74,470	653
HRコンサルティング		
ブレース&サーチ(人材紹介)	788	
グローバルソーシング(海外人材サービス)	1,000	
アウトブレースメント(再就職支援)	5,103	586
アウトソーシング	7,064	632
ライフソリューション		
パブリックソリューション	1,774	73
シェアード		
消去又は全社	△1,207	△1,411
合計	88,994	533

※当期からセグメント区分を変更したため前年同期比は記載しておりません。

※「消去又は全社」は、グループ間取引と純粋持株会社である株式会社/パナグループの販管費を含んでいます。

(単位:百万円)

	前第2四半期 (自2009年6月1日 至2009年11月30日)	当第2四半期 (自2010年6月1日 至2010年11月30日)
売上高	92,069	88,994
売上総利益	17,689	16,174
販売費及び一般管理費	16,784	15,640
営業利益	905	533
経常利益	933	580
四半期純損失(△)	△1,696	△549

(単位:百万円)

	前期末 2010年5月31日現在	当第2四半期末 2010年11月30日現在
総資産	52,269	55,084
負債	27,289	30,823
純資産	24,979	24,260
自己資本比率	39.6%	36.4%

総資産の主な増減は、現金及び預金の増加4,353百万円等です。
負債の主な増減は、買掛金の減少649百万円、短期借入金金の増加973百万円、長期借入金金の増加4,376百万円等です。
純資産の主な増減は、四半期純損失549百万円、配当金の支払187百万円等です。

(単位:百万円)

	前第2四半期 (自2009年6月1日 至2009年11月30日)	当第2四半期 (自2010年6月1日 至2010年11月30日)
営業キャッシュ・フロー	△1,235	634
投資キャッシュ・フロー	△25	△716
財務キャッシュ・フロー	△6,180	4,711
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,648	16,905

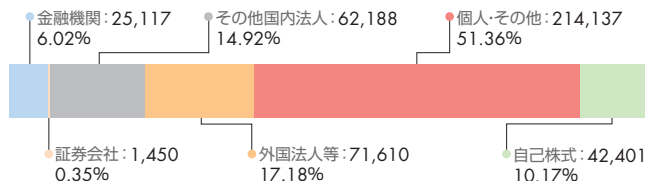
営業キャッシュ・フローの主な増減は、税金等調整前四半期純利益112百万円、減価償却費1,075百万円、法人税等の支払額337百万円等です。
投資キャッシュ・フローの主な増減は、投資有価証券の取得779百万円、敷金及び保証金の回収253百万円等です。
財務キャッシュ・フローの主な増減は、長期借入れによる収入5,946百万円、配当金の支払453百万円等です。

株式の状況

会社が発行する株式の総数: 1,500,000株
発行済株式総数: 416,903株
株主数: 9,042名

所有者別株式数

合計: 416,903株



株主(上位10名)

南部靖之	147,632株	(35.41%)
株式会社パナグループ(自己株式)	42,401株	(10.17%)
株式会社南部エンタープライズ	35,688株	(8.56%)
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー505223	29,048株	(6.97%)
株式会社サンリオ	12,000株	(2.88%)
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー (常任代理人 株式会社みずほコーポレート銀行 決済営業部)	11,466株	(2.75%)
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー (常任代理人 香港上海銀行 東京支店)	7,930株	(1.90%)
メロンバンク エヌエー アズ エージェント フォー イッツ クライアント メロン オムニバス ユーエス ペンション	6,944株	(1.67%)
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー505103	6,898株	(1.65%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,685株	(1.36%)

※自己株式42,401株(発行済株式数に対する所有割合10.17%)は、会社法第308条第2項の規定により議決権を有していません。

取締役および監査役

代表取締役グループ代表

南部 靖之

取締役会長

竹中 平蔵

取締役専務執行役員

深澤 旬子

取締役専務執行役員

山本 絹子

取締役専務執行役員

若本 博隆

取締役常務執行役員

佐藤 司

取締役常務執行役員

仲瀬 裕子

取締役

森本 宏一

取締役

鈴木 雅子

取締役

渡辺 尚

社外取締役

平澤 創^{*1,3}

社外取締役

衛藤 博啓^{*1,3}

常勤監査役

肥後 一雄

社外監査役

秋元 勇巳^{*2,3}

社外監査役

後藤 健^{*2,3}

社外監査役

船橋 晴雄^{*2,3}

*1 取締役の平澤創氏、衛藤博啓氏は会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

*2 監査役の秋元勇巳氏、後藤健氏、船橋晴雄氏は会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

*3 東京証券取引所に対し、平澤創氏、衛藤博啓氏、秋元勇巳氏、後藤健氏、船橋晴雄氏を独立役員とする独立役員届出書を提出しています。

アドバイザーボード

財団法人地方自治研究機構 会長

石原 信雄

財団法人機械システム振興協会 会長

児玉 幸治

学校法人日本社会事業大学 理事長

鷲尾 悦也

TTI・エルビュー株式会社 取締役会長

相原 宏徳

当社取締役会長 兼 慶應義塾大学 教授
グローバルセキュリティ研究所 所長

竹中 平蔵

会社概要

CORPORATE DATA

社名 株式会社パナグループ(Pasona Group Inc.)

本社 〒100-6514
東京都千代田区丸の内1-5-1
新丸の内ビルディング

パナグループ 本部 〒100-8228
東京都千代田区大手町2-6-4

創立 1976年 2月16日

設立 2007年 12月 3日

資本金 50億円

事業内容 グループ経営戦略の策定と業務遂行支援、経営管理と経営資源の最適配分の実施、雇用創造に係わる新規事業開発等

証券コード(2168)

事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日
剰余金の配当基準日	5月31日(中間配当を行う場合は11月30日)
定時株主総会	毎年8月
株式売買の単位	1株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告方法	電子公告 www.pasonagroup.co.jp/ir ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-288-324(フリーダイヤル)

2009年1月5日に実施された株券の電子化に伴い、株式会社証券保管振替機構(ほふり)へ期日までに預託されなかった当社株券について、株主の権利を確保するため、当社が株主名簿上の株主名義で「特別口座」を開設しております。特別口座にて当社株式が管理されている方は、所定のお手続きが必要となりますので、上記事務取扱場所へご連絡をお願いいたします。

IRメール
登録の
ご案内

パナグループIRサイトでは、IR情報をタイムリーにお知らせするメール配信の登録を受け付けています。下記アドレスにアクセスの上、是非ご登録ください。

www.pasonagroup.co.jp/ir

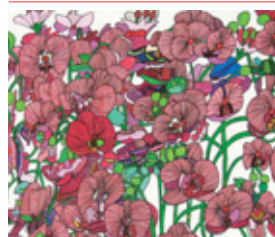
株式会社パナグループ

Tel. 03-6734-0200(代)

www.pasonagroup.co.jp



この株主通信は「FSC認証紙」と、揮発性有機溶剤を含まない「VOCゼロ型インキ」を使用しています。



表紙の絵:「コチョウラン」

森田 守(知的障害)

パナグループのアーティスト社員として、絵を描くことを仕事にしています。細かな作品を、見る人が驚くほどのスピードで迷いなく描いていきます。現在、世界遺産シリーズを経て、植物シリーズの作品を制作中です。

パナグループは「才能に障害はない」のコンセプトのもと、1992年に「アート村プロジェクト」をスタートして以来、アートを通じて障害者の社会参加を支援しています。